

Outline In The First Half

OF

2020

2020年上半期の総論

みなさんこんにちは。まーさです。
さて半期に一度のお楽しみ（そして七転八倒）、上半期占い帳、始まります。

しかしここからの半年間はなかなかイベント多めな時期ですよ！

っていうか違った（笑）。これを読んでもらう段階で（2019年内）すでにイベントは始まっていった。

はい、この（大体）半年間の間のイベントその1は、「木星の移動（射手座から山羊座へ）」です。12月3～4日あたりね。

これまで、冥王星とダブルで山羊座にいたために、この世の中の変革拠点（変わらなくちゃいけない場所の象徴）として…何となくダーティーなものを背負ってきた山羊座ですが、そこにさらに大吉星（ちょっとベタ表現）・木星も加わります。

「そんなに（天体界の）大御所ばかりひととところ集まって、爆弾でも仕掛けられたら…どうするんだ…」と、無駄に私のハリウッド脳？ が不安を覚えるくらいなの、エネルギー集中ぶりですが。

間違いなく、ここから改めて山羊座が変化の先頭に立ちますね。

そのキーワードや大きな原動力は、ここを起点とするんでしょ。

それにしてもここまで「変化の必要性を、最後の最後まで理解しきれない&認めないご隠居」みたいな扱いだったのに（ひどい）。今度はその流れの先頭に立つなんて（旗頭感）。

山羊座ったら、どういう転身ぶりなんでしょ。わくわくが収まりません。

で、こちらは一旦置いて。その2として、その山羊座で大いに修行を積んできた（いや私たちに存分に修行させた）土星…ついにそのホームから再度出発します（山羊座は土星の守護星座だからね）。十分に堪能させてもらいました。山羊座土星。まあまあいろいろな土星経験させてもらっているはずの私ですが（年齢的に）。

あまりにもその力が強くて&ハマっていて、「土星はいつも山羊座にあるものである」と勘違いしてしまいうようなレベルであった。

2017年12月20日以降のこの二年間…、実際に移動するのは2020年3月23日ですが、この二年+α

ルファの間くらい、”社会“っていうものについていろいろ考えさせられた時期はなかったなあ…さすが山羊座は社会の星。私の知っている+こういうものだと思ってきた社会は、「今大きく壊れ、再度生まれようとしている」という。

こういう実感でいっぱいのもーさです。

また、その土星移動の翌日が、春分…つまり「占星術上の新年」というね！

2020年の春は…ある意味（方面で）、本当に新しさの際立つ春になるのかもしれないなあ。

なんてことを思います。

で、じゃあ今度その土星が入座する水瓶座では、土星はどんなことをするのか、どんなことが起きるのか。これに関しては、その移動の時期（4月）の占いで、詳しくいきたいと思います。

なぜかという、そこまでの1~3月前半で、本当に“濃厚山羊座色”なときなんですよ。

さっきのハリウッド脳じゃないけど、「そこにどうしてそんなに要人集まる!!!」な感じ（しかも三ヶ月って長い）なので。

どうしても山羊座に注目せざるを得ない、そこを起点に全体を読むことになりそうなのですが。

それが切り替わり始めるのが、その3月末なんです。しかも移動時には、ボディガードとして？ 火星も帯同しておりまして（移動約一週間差）。

それ以降、いきなり水瓶座の熱量が（重み）が増し出すんですわ…。

というちょうどいい切り替えタイミングがあるんで。

本で言えば章が切り替わるくらいの雰囲気なので。そっちはそっちでやったほうがいい（前半は山羊座王朝繁栄期に徹して）という判断ですわね。

はい前置きも長くなった！

でも途中で話が変わってくるというのを頭に入れて先を見てもらうのは、いいことですからね。

さっそく始めていきましょう。

終わりの始まりは派手で窮屈 制服絶対着ないといけないの…？ 1月

はい1月。

すでにこの年頭の段階で、（度数小さい順に）木星、水星、太陽、土星、冥王星が山羊座にいます。

ちなみに5天体が最大で、これ以上になることはないみたい。月がここにやってくる25日の新月段階では、もう水星は水瓶座に移動しています。

で、この5天体戦隊（汗）、年頭早々超強力…っていうか、一個のことしか見ていない風味出してます。木星の移動早々である12月中旬あたりから、びしっと牡牛座天王星に120度を取り、何ていうんだろう…。「生きることをより重んじる姿勢」みたいなのを感じさせています。

言い換えるなら「もう絶対に適当に生きる気はねえ」（笑）。

少し話がそれるようですが、同じ「土星座に大惑星」という組み合わせでも、山羊座にいる土星、冥王星（これまで）と、牡牛座の天王星は、ずいぶん主張が違うように思えます。

山羊座の基本主張（方針）は社会&全体を変えよう→そのためには、一個人として必ずしも気に入らないこともあるだろうが、仕方ない。かつすべきことはルール、理念の変更である（外枠）

みたいな感じなのに対し、

牡牛座の方の基本主張はあくまで「自分がどう感じるか」。生きていく中で、それが必要と感じれば、今まで興味を持たなかったものにも関心を寄せたり、生活を変えたりすることも辞さないけれど…それはすべて自分の心の内のこと。自分の感覚で選ぶことだ（内枠）

というような差ですかね。

みんな優先、自分優先の差ですけど、でも最終的に